

今回、就労継続支援 A 型事業所と就労移行支援事業所との多機能事業所を開設したいと考え、株式会社ルートを起ち上げました。

株式会社ルートは親会社の位置づけとなる有限会社 ComeLuck からの委託契約を受け、働くこと、作業することを通して障がいを持っている方が就労という社会参加への支援をすることを目的としています。

有限会社 ComeLuck は縫製を柱とした製造業です。近年では TV の情報番組や CM でも知名度が高まり、注目されている商品名「洗濯マグちゃん」の製造（マグネシウム粒の計量、縫製等）や大手各自動車メーカーからの委託で自動車シートカバー縫製等を中心に事業拡大を進めています。ありがたいことに受注生産が追い付かず工場内作業に加え、内職 40 名以上とも契約し生産している次第です。また外国人研修生を受け入れ日本の技術を世界に広げる試みにも取り組んでいるところです。

そんな中で近隣の福祉事業所の経営者の方々と縁あって、複数の事業所へいくつかの作業を委託する運びとなりました。当初は作業の精度や作業量は期待せず、少しでも社会貢献になるのであれば、それで構わないつもりでした。しかしそれはいい意味で大きく予想を覆すものでした。納期に期待以上の精度で委託通りに安定して納品される製品に大変満足したのです。実際に作業の様子を見学させてもらい、障がい者に対する考え方が大きく変わりました。黙々と懸命に作業する姿に障がいは関係なくビジネスパートナーと実感しました。また外国人研修生の受け入れも軌道に乗っていたものの、結局 5 年間という研修期間の中で積み上げた技術は自社の中で積みあがるものではなく、それに加え新型コロナの影響を考えると、労働力としての考え方を大きく変える転機になりました。

契約している福祉事業所の利用者の働く姿から、今度は自分たちでビジネスパートナーを育てていきたいと考えるようになり、多方面の情報収集を始めました。就労継続支援 A 型事業所として安定した経営と事業拡大を図っていた経営者で他事業所のアドバイザーもされていた方から全面的なサポートを得られることとなり、福祉事業としての考え方や運営についても知識や理解が深まったことから、この機での就労継続支援 A 型事業所と就労移行支援事業所との多機能事業所の起ち上げを決意いたしました。

働きたい、自立したいという当たり前の自我を障がいの有無で制限したり、妥協したりすることなく、少し時間はかかっても一緒に成長し、仕事を通してお互いに支えあえる人材を育てていきたいと考えています。有限会社 ComeLuck でも障がい者枠の雇用に取り組んでいます。習得のスピードは各々ですが一度技術や知識を身に着ければ十分、戦力として活躍してもらえると実感しています。そこで、これからは一般雇用の準備段階を支えることで今まで以上に無理のない安定した職業生活を安心して考えられる環境を整えたい、今までお客様に誠心誠意を込めて製品をお届けしていたように人材を育て、グループ全体で視点を変えた成長を図りたいと強く考えています。

事業所を起ち上げた後も起業を応援して下さった方々から引き続き強力なサポートをしていただけることになっています。障がいはよりよく生きる妨げになるものではなく、その人の個性と捉え、共に成長する事業所を設立いたします。